

EEVの向上に努め、さらなる安定的成長をめざします。

ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (EEV)

2兆7,024億円

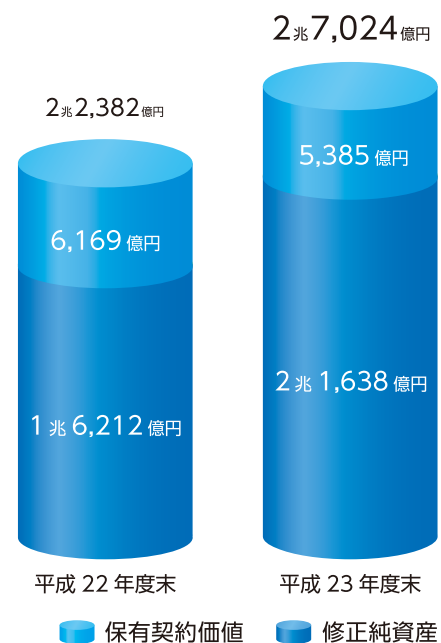
保険契約の収支構造や現在の財務状況を
総合的に表わす時価ベースの指標です。

EEVとは、生命保険会社の企業価値を表わす指標であり、ご契約者をはじめ、多くの方に有用な情報をもたらすものと考え、国際的な監督規制や会計基準の動向も見据え、平成22年度決算から開示しています。

平成23年度末のEEVは、2兆7,024億円（前年度末差4,641億円増）となりました。

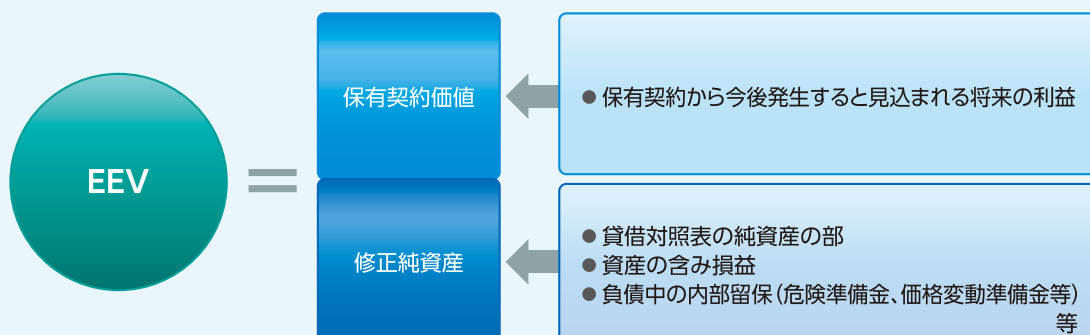
なお、EEVの内訳数値である保有契約価値は、主に長期金利の低下などにより減少し、5,385億円（前年度末差783億円減）となり、修正純資産は、有価証券含み益の増加や内部留保の積増しなどにより増加し、2兆1,638億円（同5,425億円増）となりました。

■ ヨーロピアン・エンベディッド・バリューの推移



EEVとは？

保有契約から今後発生すると見込まれる将来の利益である「保有契約価値」と、貸借対照表の純資産の部に資産の含み損益や負債中の内部留保などを加えた「修正純資産」を合計したものです。



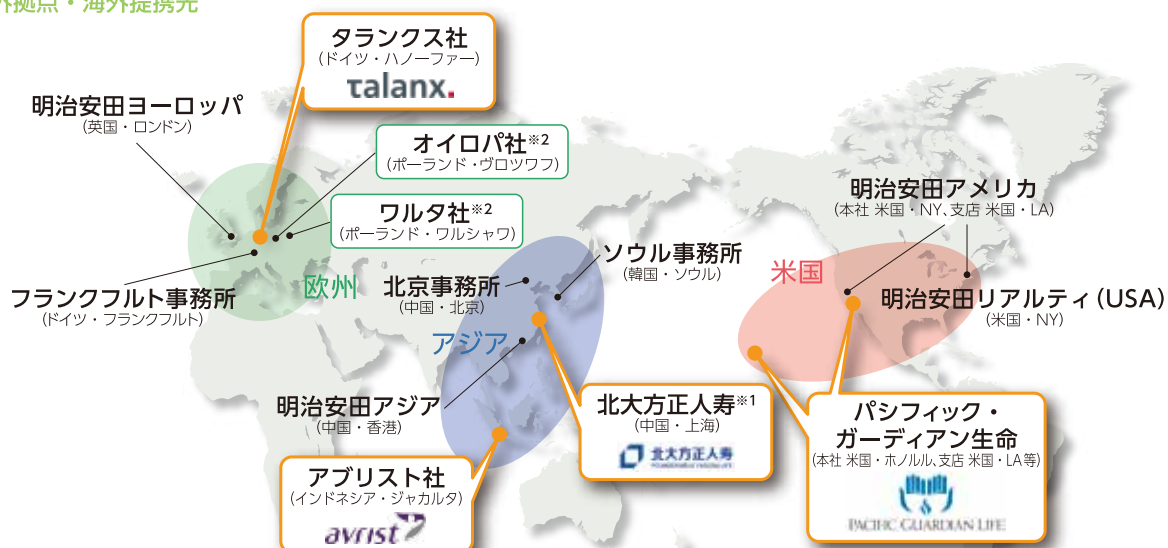
当社は、成長分野への事業進出と軌道乗せを図ります。

海外保険事業の展開拡大

国内生命保険市場における強固な事業基盤の維持・拡大に加え、当社グループの持続的成長の促進と事業ポートフォリオ多様化の観点から、海外保険事業への取組みを強化しています。

当社は、平成22年度に海外保険会社3社（ドイツ・タランクス社、インドネシア・アブリスト社、中国・北大方正人寿^{※1}）にかかる資本・業務提携契約を締結しました。平成23年度には、業務提携先であるタランクス社と共同で、ポーランドの大手保険グループ（オイロパ社^{※2}、ワルタ社^{※2}）を買収することとしました。また、今年度はアブリスト社への出資比率を引き上げ、当社の関連会社（持分法適用会社）としました。

■ 海外拠点・海外提携先



※1 平成24年4月に、北大方正集団を新たな提携パートナーとして迎え、ハイアール人寿から社名変更

※2 株式取得に向けた手続き推進中

(平成24年5月末現在)

介護関連事業への本格参入

超高齢社会を支える生命保険会社として社会的な役割を発揮する観点から、多様な介護関連ニーズに対応したサービス態勢の確立をめざし、平成23年11月に介護総合情報ポータルサイト「MY介護の広場」をオープン、平成24年3月には介護付有料老人ホームを運営する株式会社サンビナス立川を買収・子会社化しました。介護関連サービスに対するニーズは年々高まっていることから、今後、さらなる介護関連事業の推進に努めていきます。



明治安田生命保険相互会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内 2-1-1

TEL 03-3283-8111 (代表)

<http://www.meiji yasuda.co.jp/>

UD FONT

